

INNOVATION CURATOR JUKU 2019-2020

イノベーション・キュレーター塾 第5期塾生募集

SOCIAL
INNOVATION
LABORATORY
KYOTO

持続可能な社会の実現を目指す、 “四方よし”ビジネスの支援者になりませんか？

※四方よし=三方よし[売り手よし、買い手よし、世間よし]+未来よし

塾生募集要項

対象

- 企業・NPO等の支援業務に携わっている方、金融業界・ファンドなどで融資・コンサル業務に携わっている方、行政職員、士業の方など、支援業務を行っている方
- 事業者、または組織内において、新規事業や社内ベンチャーの立ち上げに関わっている方や、経営戦略を立案・実践している方、又は今後実践する方
- 前後期全10回通して参加できる方

授業日程

- 前期6回：2019.09.14 / 10.05 / 10.26 / 11.23 / 12.14 / 2020.01.18 ※いずれも土曜日 13～17時
- 後期4回：2020.03.07 / 04.11 / 05.30 / 06.20 ※いずれも土曜日 13～17時

会場

- GROVING BASE(グローピングベース) <https://groving-base.jp/> ※ほか、京都市内の会場にて開催
- 京都市下京区新町通松原下ル富永町107番地1
阪急京都線「烏丸駅」から徒歩9分
京都市営地下鉄「五条駅」から徒歩5分

概要

- 定員：15名 受講料：18万円(税別) ※分割払い可
- 募集期間：2019年8月1日(木)～8月31日(土)
- 申込方法：申込書を当研究所HPからダウンロードいただき、①名前 ②年齢 ③所属 ④連絡先 ⑤今携わっている業務 ⑥この塾を知ったきっかけ、を明記のうえ、志望動機(400文字程度)と「自分が実現したい未来と、解決したい課題について」(A4用紙1枚程度)を添付して、silk@astem.or.jpまでお送りください。書類選考にて可否を判断し、9月上旬にご連絡いたします。



塾長

高津 玉枝 | TAMAE TAKATSU

株式会社福市 代表取締役/一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム 監事

大学卒業後、富士ゼロックスに入社。その後雑貨商社に転職。1991年に売り場をプロデュースするマーケティング会社を設立。1990年代後半にフェアトレードの概念に出会い、2006年に「持続可能な世の中に向けて行動する人を増やすこと」をミッションに、株式会社福市を設立。世界中からフェアトレード商品を集めたセレクトショップ『Love&sense』を、百貨店などの商業施設でイベント展開。2012年に阪急百貨店うめだ本店に出店。新しいライフスタイルを発信中。東日本大震災後に、手仕事で支援するプロジェクト『EAST LOOP』を立ち上げる。地元の自立のために事業を東北に移管。経産省・復興庁から事業を受託。2015年からイノベーション・キュレーター塾の塾長を務める。



第4期塾生の声

今西 充 | MITSURU IMANISHI

医療機器メーカー 新事業開発本部

新たな価値創造にチャレンジされている講師陣のお話を聞くことで、未来社会の“兆し”を感じるとともに、自身の価値観の変化や社会観に拡がりを感じました。また今までの人生を振り返り、自身の価値観に向き合い、塾長や塾生との対話を通じてそれらを深掘りしていく作業は、自分自身の考えの軸を整理することができ、自分がどのような人間なのか改めて認識し、今後の自身の生活と社会との関わりにおいて大きな気づきを得たと考えています。



田中 暖子 | HARUKO TANAKA

松島法律事務所 弁護士

課題解決のヒントは自分の枠の外にある。でも、固く築き上げてきた自分の枠は、一人で悶々と考えていても、同じ属性の人で集まっても、なかなか壊すことはできません。イノベーション・キュレーター塾では、一見無関係のように思える多様なゲストスピーカー、ここでしか出会えない塾生の挑戦の中に、自らの課題意識に繋がる、ハッとするような気づきがありました。今後も小さくとも行動から学び、自分の枠に楔を打ち込み続けたいと思います。



京都市ソーシャルイノベーション研究所

SILK | SOCIAL INNOVATION LABORATORY KYOTO

公益財団法人 京都高度技術研究所(ASTEM)内
住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-366-5527 FAX:075-366-5529 MAIL:silk@astem.or.jp
www.social-innovation.kyoto.jp



イノベーション・キュレーター塾

【イノベーション・キュレーター】とは、社会的課題を解決する・課題を生まない社会を目指す視座を持ち、従来のビジネスや組織を、目指す未来へ向けてイノベティブに導く人のことです。グローバル化が急激に進み、多様な価値観との共生やSDGsへの取り組みが求められる中、世の中には「正解のない問題」が溢れています。この塾では、単に目の前の課題に対する答えを探す力だけでなく、自分の生き方に軸を持ち、独自の視点で問いを立て、社会にインパクトを与えていく人材を育成します。

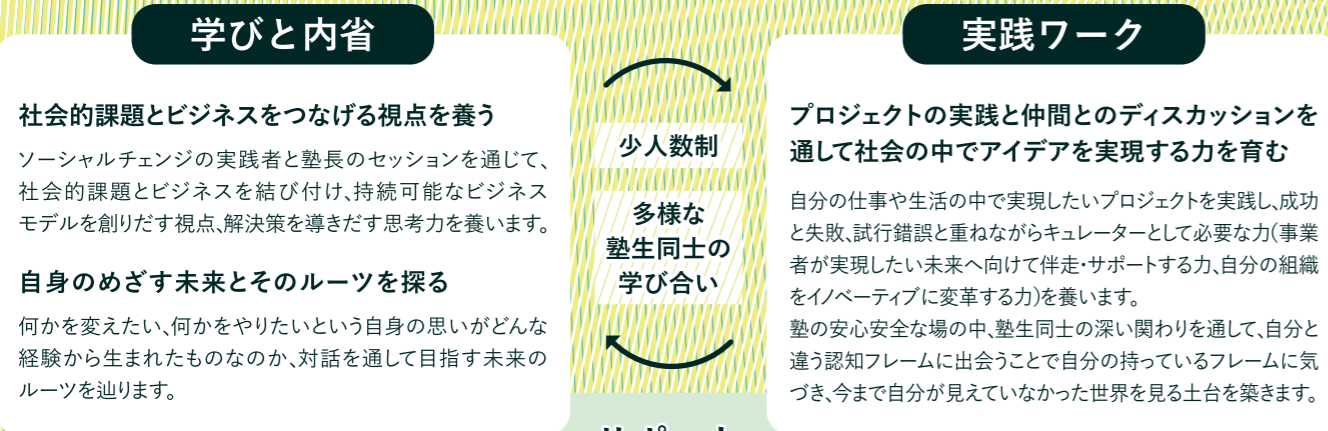
なぜイノベーション・キュレーターが必要なのか？



イノベーションを生み出すためには……

従来型の問題解決の仕組みや発想ではイノベーションは起きづらくなっています。多様な人に出会うことで、自分や組織が持っている世界の捉え方や考え方のフレームに気づき、その既存のフレームを外すこと。それにより、今まで自分が見えていなかった世界が見えてきます。そのように多様な視座を持ち、事業者の創りたい未来に向けて伴走支援するイノベーション・キュレーターの存在が必要です。

プログラム



- SNSグループを活用したイノベーション・キュレーター塾コミュニティ内での情報交換や相談
- 実践ワークの個別ブラッシュアップミーティング開催
- 京都市ソーシャルイノベーション研究所が関わる各種イベントの案内

キーワード

俯瞰/本質/デザイン思考/アート思考/価値の創出/意味づけを変える/バックキャスト/つながり/エコシステム/SDGs/多様性

前期プログラム(全6回)

ソーシャルチェンジの実践者であるゲストスピーカーの方々と、自らもフェアトレード普及を通じて実践を行っている高津塾長のセッションによる授業を行います。並行して一人ひとりが実践ワークに取り組み、塾生同士のグループワークでブラッシュアップをしながら学びを深めます。

俯瞰力×多様性×哲学(生きる有り様) 09.14

大室 悦賀 | NOBUYOSHI OHMURO
 京都市ソーシャルイノベーション研究所所長
 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授・ソーシャルイノベーション創出センター長

社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・ビジネスをベースに NPO などのサードセクター、企業セクター、行政セクターの3つのセクターを研究対象として、全国各地を飛び回り、アドバイスや講演を行っている。著書:『サステイナブル・カンパニー入門』『ソーシャル・イノベーションの創出と普及』『ソーシャル・ビジネス:地域の課題をビジネスで解決する』『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』『ソーシャル・エンタープライズ』『NPOと事業』など。



感謝×思いやり×あざとさ 10.05

河口 真理子 | MARIKO KAWAGUCHI
 株式会社大和総研 調査本部 研究主幹/グローバル・コンバクト・ネットワーク・ジャパン 理事
 日本サステナブル投資フォーラム 共同代表理事

気候変動問題、水資源や鉱物資源不足、森林減少砂漠化、生物多様性の喪失、グローバルな貧富の差の拡大の問題など、私たち人類が直面する課題をどう乗り越えて、いかに持続可能な社会に作り替えていくのか。そのために企業の立場(CSR)、投資家の立場(ESG投資)、生活者の立場(エシカル消費)からすべきことは何かをテーマに研究、提言、発言を行っている。著書:『ソーシャルファイナンスの教科書「社会」のために「あなたのお金」が動くということ』



平和×映画×持続可能な未来 10.26

関根 健次 | KENJI SEKINE
 ユナイテッドピープル株式会社 代表取締役/一般社団法人 国際平和映像祭 代表理事
 ビースデー・ジャパン共同代表/PEACE DAY 財団理事

米国の大学卒業後に世界旅行へ出て、偶然訪れた紛争地で世界の現実と出会い、後に平和実現が人生のミッションとなる。2002年に世界の課題解決を事業目的とするユナイテッドピープル株式会社を創業。ネット募金サイト「イーココロ!」やネット署名サイト「署名TV」の運営を経て、2009年から映画事業開始。2011年に国際平和映像祭を設立し、毎年の国連ビースデーに国際平和映像祭を開催している。著書:『ユナイテッドピープル』



まちづくり×京町家の流通×留学生の住まいと職 11.23

吉田 光一 | KOHICHI YOSHIDA
 株式会社フラットエージェンシー 取締役会長

1950年横浜生まれ、1974年京都に移住、創業。21歳で海外へ旅立ち、約30カ国放浪。ロンドン滞在中に地元不動産屋「Flat Agency」にお世話になる。帰国後、創業。現在は「まちづくり産業」としての役割を果たすべく、理想の学生寮を追求した「シェアフラット」、「定期借家制度」を活用した空き家流通促進、京町家保全・再生事業、留学生・高齢者の居住支援取組など、地域の課題をいち早く見つけ事業化している。「これからの1000年を紡ぐ企業認定」第2回認定企業



世界観×お金×共感 12.14

新井 和宏 | KAZUHIRO ARAI
 株式会社 eumo 代表取締役
 ソーシャルベンチャー活動支援者会議(SVC)会長

1992年住友信託銀行(現・三井住友信託銀行)入社、2000年パークレイズ・グローバル・インベスターズ(現・ブラックロック・ジャパン)入社。公的年金などを中心に、多岐にわたる運用業務に従事。大病とリーマン・ショックをきっかけに、それまで信奉してきた金融工学、金融市場のあり方に疑問を持つようになる。2008年11月、鎌倉投信株式会社を元同僚と創業。投資信託「結い2101」の運用責任者として活躍。2018年9月13日株式会社 eumo を設立。



塾長より まとめと振り返り 後期に向けての課題設定等 01.18

高津 玉枝 | TAMAE TAKATSU
 株式会社福市 代表取締役/一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム 監事

前期の最終回では、高津塾長が2006年に創業したフェアトレードのセレクトショップ『Love&sense』で生み出したイノベーションや、登壇していただいたゲストスピーカーの事例を振り返ります。創りたい未来に向けてどのようにイノベーションを起こしていくのか、それぞれのステップを解説するとともに、グループワークを行い、後期への課題設定を行います。(塾長のプロフィールは裏面参照)



後期プログラム(全4回)

実践ワークのブラッシュアップを中心に、イノベーション・キュレーターが社会で果たすべき役割を見つめ直し、必要な力を養います。

